

施策番号	1301		
施策名	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり		
概要	社会のあらゆる場で子どもたちを共に育む実践の輪が広がるよう「子どもを共に育む京都市民憲章」の普及促進に取り組むとともに、全市・行政区・地域の各レベルの子育て支援ネットワークの連携の強化と協働した取組の展開を図る。		
担当局・部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン(2015～2019)		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	スマートフォンアプリ(京都市はぐくみアプリ)のWeb アクセス数(件)	c	b	202, 197	237, 633	218, 000	109. 0%	a	0. 50
2	地域子育て支援ステーション事業基幹ステーション 実施学区数(学区)	-	b	129	133	134	99. 3%	a	1. 00
3	地域子育て支援拠点事業の利用人数(人)	a	a	649, 111	606, 490	649, 111	93. 4%	e	1. 00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	子どもの見守り活動など、身近な地域 で子どもとの交流や子育て支援の取組 が進んでいる。	b	b	43	202	137	30	20	432
				10. 0%	46. 8%	31. 7%	6. 9%	4. 6%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 対象者が子育て世帯という限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						29 年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b 評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b 評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。						28 年度	A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	民営保育所地域活動事業	16,282	17,285	かなり良い	子ども若者はぐくみ局
2	地域子育て支援ステーション	43,058	47,304	かなり良い	子ども若者はぐくみ局
3	子どもを共に育む京都市民憲章の推進	21,916	19,402	良い	子ども若者はぐくみ局
4	京都やんちゃフェスタ	23,328	25,697	普通	子ども若者はぐくみ局
5	子どもの居場所づくり支援事業	22,711	21,556	良い	子ども若者はぐくみ局
6	生活保護世帯等困窮世帯の子どもに対する学習支援事業	12,704	14,965	良い	子ども若者はぐくみ局
7	はぐくみ未来応援事業	325	798	—	子ども若者はぐくみ局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・京都市はぐくみネットワークの活動を通じて各分野で実践行動を一層広げ、市民・地域ぐるみで子育てを支え合い、子どもたちを健やかで心豊かに育むまちづくりを進める。

・また、「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念を市民生活の中に浸透させ、これまで以上に子育て支援に関する機運を高めるため、スマートフォンアプリ「京都市はぐくみアプリ」等による情報発信や、地域子育て支援ステーション事業、地域子育て支援拠点事業の実施などにより、子育て家庭を地域で支える取組を進めていく。

・さらに、一人ひとりの子どもたちの学び・育ちを保障するとともに、子どもが安らぎ・育つ「家庭の子育て力」を高めるため、新たに策定した「京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画」に基づき、社会全体で、子どもや青少年の貧困問題を解決する仕組みづくりに取り組んでいく。

・近年、子育ての孤立化、子育てに対する不安や負担感の増大、児童虐待等が社会問題化している中、児童館として情報発信を強化し、子育て家庭の交流促進や育児相談等、課題の早期発見や予防のために各機関との連携を進めていく。

施策名	1301	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり				
-----	------	---------------------------------	--	--	--	--

指標名	スマートフォンアプリ（京都はぐくみアプリ）のWebアクセス数（件）					
-----	-----------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	育成推進課		連絡先	7 4 6－7 6 1 0		
-----	-------	--	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

スマートフォンアプリ（京都はぐくみアプリ）のWebアクセス数

2 指標の意味

子育て親子に対して情報発信できているかを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度末のWebアクセス数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	202,197	237,633	35,436件増	218,000	京プラン実施計画 第2ステージに掲げる平成32年度までの目標数値（218,000件）を目標値に設定する。	109.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	218,000	32年度	109.0%	京プラン実施計画 第2ステージ	

5 評価基準

最新数値が目標値に対し、
a：達成度100%以上、
b：達成度90～100%未満、
c：達成度80～90%未満、
d：達成度70～80%未満、
e：達成度70%未満

6 基準説明

京プラン実施計画 第2ステージに掲げる平成32年度までの目標数値（218,000件）を目標値に設定し、目標値に対する達成度を評価基準とし、100%以上をa評価、100%未満をb評価、90%未満をc評価、80%未満をd評価、70%未満をe評価とする。

7 評価結果

28	29	30
c	b	a

1 指標の説明

地域子育て支援ステーションは、京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた子ども支援ネットワークの充実において、身近な地域レベルの子育て支援を担うこととしている。本事業の基幹ステーションは、各小学校通学区域の子育て支援ネットワークの構築を担うこととしており、今後、学区数が増加していくことが望ましいものである。

2 指標の意味

身近な地域での子育て支援ネットワークが構築され、子育て支援が充実されていることを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度当初の実施学区数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	129	133	4学区増	134	平成32年度目標値達成のため、当該年度達成すべき数値（毎年度約4箇所）	99.3%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	146	32年度	91.1%	京プラン実施計画 第2ステージ	

5 評価基準

該当年度の実施学区数が
a：新規実施4学区以上
b：新規実施3学区
c：新規実施2～1学区
d：増減なし
e：減少

6 基準説明

京プラン実施計画 第2ステージで掲げる平成32年度までの目標数値（146学区）を達成するためには、各年度平均4箇所の新規指定が必要であるため、新規実施4学区以上をa、以下1学区刻みで評価し、前年度を下回った場合をeとする。

7 評価結果

28	29	30
-	b	a

施策名	1301	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり										
指標名	地域子育て支援拠点事業の利用人数（人）											
担当課	育成推進課		連絡先	7 4 6－7 6 1 0								
1 指標の説明												
地域子育て支援拠点事業（一般型（つどいの広場・保育所）52箇所，連携型（児童館）131箇所）の利用人数。地域の子育て中（主に乳幼児（0～3歳））の親子の交流促進や育児相談など，子育て家庭を地域で支える取組を実施												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
身近な地域で子育て親子が交流する場の利用状況を示す指標			算出方法：各施設毎の利用者数 出典：事業担当課調べ									
4 数値												
	前回数値 28年度	最新数値 29年度	推移	目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	649,111	606,490	42,621人減	649,111	過去3年間の最高値	93.4%						
	全国順位	中長期目標				備考						
		数値	目標年次	達成度	根拠							
数値												
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
最新の数値が過去3年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			過去3年間の数値を基に，過去3年間最高値以上をa，平均値以上をcとし，最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：649,111（平成28年度） 平均値：631,720 最低値：621,499（平成26年度）		<table><tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr><tr><td>a</td><td>a</td><td>e</td></tr></table>		28	29	30	a	a	e
28	29	30										
a	a	e										